

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2013年8月定例会議議事録

◎ 開催期日：2013年8月22日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① Cカード協議会新規事業について

- これまでの吉田元教授からの提案事項について、再度内容確認が行なわれた。確認された内容は以下の通り。
 - 事業の目的
 - ビジネススキーム
 - 各指導機関の社員がプロモーションマネージャー（営業担当者）として、大学に営業を実施し、アカデミックインストラクター（大学コース実施担当者）に斡旋することが確認された。
 - 大学との契約者は、アカデミックインストラクター（大学コース実施担当者）とすることが確認された。
 - 大学に対する提案書（サンプル）
 - ここで紹介された提案書は、PADIが大学営業を行なう前提で作成したものであり、他の指導機関が使用する場合は、各社の状況に合わせてリライトして使用することが確認された。
 - その他
 - 大学プログラムのダイビングに係るコースフィは、C協加盟各社統一料金とし、別途施設使用料、移動交通費等の実費は学校もしくは学生負担とすることが決定された。
- 吉田元教授提案再確認後、今後のプランとして本年9月中旬にPADI JAPANが沖縄の大学8校に営業を実施する意向が説明された。
 - これに対し、現状はまだ、プロモーションマネージャー（営業担当者）の研修内容および、アカデミック・インストラクター（大学コース実施担当者）の研修内容が確立されていないことなどの理由から、9月沖縄営業は時期尚早であるとの意見があった。
 - 話し合いの結果、9月は沖縄大学をベースとした、大学営業のリサーチを実施するのはどうかとの意見があった。

- 上記の他、以下について意見調整がなされた。
 - アカデミックインストラクターの要件として学歴は限定しない。
 - アカデミックインストラクタートレーニングプログラムは、認定制度ではなく研修として修め、研修修了者をC協HPで公表する。
 - アカデミックインストラクタートレーニングプログラムでは、プール実習、海洋実習は行なわない。
 - プロモーションマネージャー（営業担当者）の研修を早期に行い、アカデミックインストラクタートレーニングプログラムの具体的内容をプロモーションマネージャーが掌握できるように図る。

- ② 大阪ダイバー自身の安全対策セミナーの件
 - 実行委員より、セミナーの具体案について説明があった。
 - 本セミナーのタイトルが「大阪会場第二回ダイバー自身の安全対策セミナー」とされていたが、セミナーの実施回数を明確にするため、タイトルを第三回に変更することになった。
 - タイトルを変更する前提で、セミナーの具体案が定例会主席者に承認された。
 - 承認を得た具体案の要項をC協HPに掲載し、直ちに募集を開始することが決定された。
 - 承認された具体案を大阪地区スクーバダイビング安全対策協議会に報告することとなった。

- ③ その他
 - ダイビングの安全啓蒙を目的に、ダイビングの安全ルールのまとめ10項目をC協HPに掲載する案が、事務局より提案された。
 - 事務局がまとめたダイビングの安全ルール10項目について、C協加盟各社で検討し、意見があれば、8月30日までに事務局に連絡することが決められた。30日までに意見がない場合は、事務局提案内容を各社が承認したとし、C協HPに掲載することが確認された。

以上